杉作J太郎『ねじ式』出演マンガ

セイガク本線・番外編

映画『ねじ式』の思い出

杉作J太郎

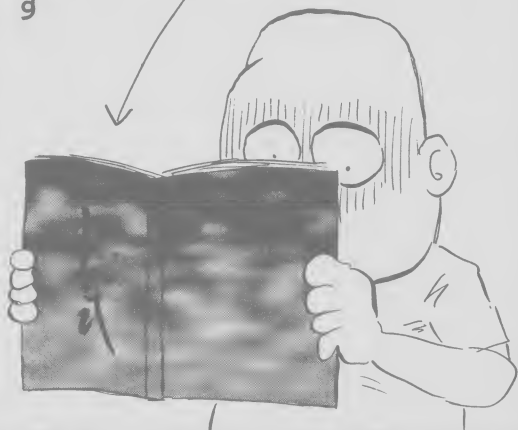
図書館の
コンピューターで
『ねじ式』の
項目を検索していたら

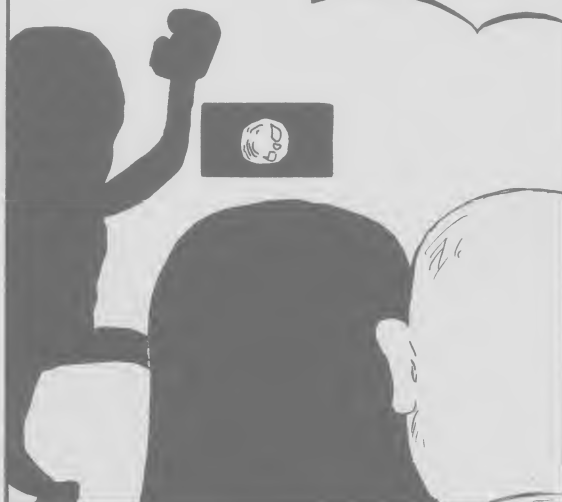
聞いたことのない男の
手記が出てきた

それまで石井輝男監督の映画には2作続けて出演させて頂いたが
(注)すでに手記始まってます
さすがに今回は出してもらえんよな…
「ゲンセンカン主人」の三流さん
「無頼平野」の振付師
と、あきらめていた

なぜならモロモロありまして俳優の適性が自分にはないと思っていたからです
もうやめた～っ
そうしたらある日監督からお電話をいただきまして
今回も役があるよ大丈夫、大丈夫オッパイモミモミしてればいいだけだから

そんな役があるわけがない
そう思ってたら

ホントにオッパイをモミモミしてればいいだけの役だったのです
タイトル文字になったロゴは もともと脚本の表紙の文字。印刷屋の おじさんが書いたものだそうです。
あまりにも味があったため映画のタイトルもこれしかない、ということになったそうです。

でも相手は
ティーン・エイジャーの
人気女優さん
ホントに
モムわけにも
いかないから
浴衣の中へ
手を入れて
モンでるマネを
していたら——
失礼します

なにそれ!!
そんな
モミかた
ないだろッ!!
監督に
怒られた

で、
ホントに
モンだら——
まだまだ
甘いッ!!
モンでたら
浴衣が
はだけたり
するでしょ!!

3

結局
何度も
オッパイを
モミモミ
してしまった
撮影終了後
女性スタッフからは
一斉に白い目で
ニラまれてしまい
すっかり
現場で
悪役になってしまい
俺は一人で
トボトボ
山奥のロケ現場から
帰ったのであります
ふ〜ん

後日
監督は
言った
いやあ～
もう
モミはじめたら
やめないんだよ
もういいっていうのに
オッパイから
手を離さないんだから
あきれた
あきれた
ワハハハ
アハ

あ、そうそう
忘れてならないのは
撮影前夜
ロケバスの中にいた
俺のところへきた
製作の
かわいい女のコ
監督に
言われて来ました
私のオッパイで
練習して
ください…

これじゃさっぱり
『ねじ式』の
状況がつかめん
昔から
アホはいるって
ことだろ

もんどきゃよかった…

終